

すぎのこつうしん

平成30年5月号



『友達を大切にすることを育みましょう』

毎日に温かさが増し、園庭のこいのぼりも気持ちよさそうに泳いでいます。子ども達も上着を脱ぎ捨て、走りまわっています。友だちと遊んでいる時、大きい子ども達はどうしても他の子の行動が気になり「OOくん、ダメなんだよ」「OOちゃんがOOて言った」等と保育士に訴えて来たり、けんかになったりという場面が多々見られます。みんな同じ行動をしていても、とても気になる子がいるようで、腹を立てたり、ケンカに発展したりしてしまうようです。大人の社会にも往々にしてあったりしませんか。

子ども達の行動は少なからず大人の行動を真似ているのではと思います。

誰しも、この人とは気が合わないとか、とても気になるけどどうしたら良いか分からずに悪口を言うってしまうなど、子ども達はストレートに感情を出してしまうようです。

素直な子ども達に相手の気持ちを思いやれるように少しずつ知らせていけたらと思います。

家庭でも保育園でも大人が手本を見せ、人を思いやる気持ちを知らせたりすると、子ども達の声を大切にすることが出来る子に育ちます。『いいとこメガネ』をかけて、みんなを見ていきたいと思っています。

以前に園だよりで紹介しました、

『子どもが育つ魔法の言葉』 ドロシー・ロー・ソルト/レイチェル・ハリス著 石井千春 訳
の中から「子は親の鏡」をここに記したいと思います。

子は親の鏡



けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる

不安な気持ちで育つと、子どもは不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育つと、子どもは、みじめな気持ちになる

子どもを馬鹿にすると引っこみじんな子になる

親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる

叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思うってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

誉めてあげれば、子どもは明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる

見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ



親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりを持って育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

< 園長 平野 義子 >



2日	(水)	子どもの日の集い・誕生会
8日	(火)	幼年消防任命式(5歳児)
15日	(火)	サッカー教室(4・5歳児)
26日	(土)	親子遠足
	*	避難訓練

◆6月15日(金)の3歳以上児クラスの保育参観後に、“親業”についての講演会を予定しています。講師は波多野ゆかさんです。子育てに役立つ親としての関わり方などを講演していただきますので、是非ご参加ください!!



「マリアさま」

※マリアさま おてて合わせて いつの日も わたしのために 祈りくださる

1. 起きるから 休むときまで 父母の御心に添い 良い子であれと

※くりかえし

2. 目が覚めて イエス マリア ヨゼフさま 守りたまえと祈るようと

※くりかえし

「めだかのがっこう」

1. めだかのがっこうは かわのなか そおっと のそいでみてごらん そおっと のそいでみてごらん

みんなでおゆうぎしているよ

2. めだかのがっこうの めだかたち だれがせいと か せんせいか だれがせいと か せんせいか

みんなでげんきにあそんでる



おたんじょうびおめでとう



ばんび組 (0歳児)

- (ねらい) ・生活リズムが安定し、安心して過ごす。
 ・一緒にいる友達に興味を持ちながら生活する。
- (家庭連携) ・入園して1ヶ月が経ちました。体調が崩れやすいので家庭でゆっくり休みましょう。
 ・登降園の時に友達に声をかけ、興味を持って触れ合えるようにしましょう。

ひよこ組 (1歳児)

- (ねらい) ・安定した生活の中で、友だちとの関わりを喜ぶ。
 ・園の生活リズムに慣れ、のびのび遊ぶ。
- (家庭連携) ・話しかける中で、友だちの名前を呼び、存在に興味を持てるようにしましょう。
 ・温かい日は戸外へ出て、親子でのびのび遊びましょう。
 ・所持品の名前をもう一度確認してください。



ことり組 (2歳児)

- (ねらい) ・友だちと関わりながら、遊びを楽しむ。
 ・生活の仕方が分かり、簡単な身の周りのことを自分でやってみようとする。
- (家庭連携) ・園での出来事や友だちについて話していることに耳を傾けましょう。
 ・自分でやりたい気持ちを受け止めながら、うまくできないところは手伝ってあげましょう。



こねこ組 (3歳児)

- (ねらい) ・友だちを思いやる気持ち、大切にすることを育つ。
 ・生活リズムを整え、のびのびと遊ぶ
- (家庭連携) ・友だちとの出来事に耳を傾けながら、友だちを思いやることや優しくすることの大切さを知らせていきましょう。
 ・疲れが出やすくなる時期です。連休中も生活リズムを崩さず、ゆっくり休息をとりましょう。

うさぎ組 (4歳児)

- (ねらい) ・友だちを大切に、思いやりの心を持ち生活する。
 ・経験したことや思ったことを話し、言葉で伝える楽しさを味わう。
- (家庭連携) ・何かをした時、された時に嬉しい、悲しい気持ちなどを伝え、相手の気持ちを考えられるようにしていきましょう。
 ・お子さんに園での出来事を尋ねたり、さまざまな場面で気持ちを伝え合うなどして言葉のやり取りを増やしていきましょう。

ひつじ組 (5歳児)

- (ねらい) ・友だちを大切に、心や共に喜び悲しみを分かち合う心が育つ。
 ・身近な自然の変化や動植物の生長の変化に興味を持つ。
- (家庭連携) ・お子さんの言葉に耳を傾け、目を見て会話を楽しむよう心掛け、伝える楽しさ、聞く楽しさを味わえるようにしましょう。
 ・買い物に行った時に野菜の名前を知らせたり、料理を手伝う機会を持つことで野菜に興味を持たせましょう。



◀ 給食室 ▶

●少しずつ新しい環境に慣れてきているようです。楽しく会話をしながら、食事をしている風景も見られます。ご家庭でも楽しく食卓を囲みましょう！



◆〇〇は、2ヶ月から保育園生活が始まり、あっという間に卒園になってしまいました。兄弟が居る頃から先生方にはお世話になり、ありがとうございました。
 毎日の送り迎えがなくなると思うと少し寂しい気持ちになりますが、残りの園生活を楽しみたいと思います。



<ひつじ組 〇〇〇 〇〇〇くんのお母さん>

◆振り返ってみると、本当にあっという間でした。2人目という事もあり、気持ちに余裕があったつもりでしたが、兄弟であろうと、子ども一人ひとり、それぞれ違うんですね。正直、1人目よりも大変でした。朝から晩まで何をしてもギャングンと泣きわめき、夜泣きもひどく、私自身がおかしくなりそうでした。仕事が休めないという事もありましたが、57日から保育園でみていただける事が正直に言うとお救いでした。口に入れるもの、手に触れるもの、全てが気に入らないようにギャングンと泣きわめく子でした。ワガママを言って3時間おきに母乳を飲ませに行かせていただきました。ですが、申し訳なく先生方に聞くと、「全然大丈夫ですよ〜」と皆さん笑顔。母親が何をしてもダメなのに、保育園では抱っこをされ笑顔を見せ、ゴクゴクとミルクを飲み、スヤスヤと眠っていました。本当に、何てプロフェッショナルなんだろう…と感動した事、ハッキリと覚えています。
 母親として落ち込んだりもしましたが、本当にカトリック保育園にお願ひできた事、私自身も救っていた事、本当に本当に感謝しています。
 そして、食事の面でも家ではワガママ放題だったので、保育園のバランスのとれたおいしい食事のおかげで、それだけでも安心ができました。心も身体もすっかり育てていただきましたし、子ども達だけでなく親としての私も一緒にぞだてていただきました。
 カトリック保育園の先生方。本当に本当にありがとうございます！！



<ひつじ組 〇〇〇〇 〇〇〇〇くんのお母さん>



◆新年度がスタートして1ヶ月が経ちました。新しい環境に戸惑う姿が見られましたが、少しずつ慣れ、素敵な笑顔が見られるようになりました。0歳児のお友だちも泣いている子がいると心配したり、お兄ちゃんやお姉ちゃんに頭を撫でられると嬉しそうに微笑んだり小さくても友だちに興味を持ち始めてきました。しかし、年齢が上がるにつれて、自分の思いを言い合い、トラブルになることもありますが、喧嘩から学ぶこともたくさんあると思います。色々な経験をしながら、友だちを思い合う心が育つよう働きかけていきたいと思っておりますので、ご家庭でも友だちが困っていたら手をかしたり、友だちと楽しい事を共有できるよう知らせてほしいと思います。

<ばんび組担任 木村 友香>